

近江八幡は豊臣秀次が築いた城下町です

レトロな雰囲気、タイムスリップしたかのような街並みを堪能

歴史浪漫的城下町おさんぽMAP



豊臣 秀次
1568年(永禄13年)秀吉の姉、とも(日秀尼公)の子として生まれる。八幡城を築き城下町を開いて近江八幡を商都として繁栄させるのに大きく貢献しました。秀吉の養子になり一度は関白となるが淀殿の子(後の秀頼)が誕生したため、1595年(文禄4年)秀吉の後継を巡り自害させられました。享年28歳。

- P** 駐車場
- T** トイレ
- B** バス停

① 村雲御所瑞龍寺門跡

1596年(文禄5年)、豊臣秀次の生母(秀吉の姉)日秀尼公により、秀次の菩提を弔うため、後陽成天皇から瑞龍寺の寺号と京都村雲の地に賜り創建され、1961年(昭和36年)に京都よりこの八幡山へ主要建物が移築されました。



② 白雲館(観光案内所)

はくうんかん
明治10年に近江商人たちにより、子どもの教育充実を図るために建てられた、八幡東学校。その費用のほとんどが寄付で賄われ、当時にして6,000円が集められました。現在は観光案内所が併設された市民ギャラリーとして利用されています。(国登録有形文化財)



③ 八幡堀

多くの商人が八幡の町から全国へと旅立ち、近江商人として活躍した原動力となった八幡堀。現在、写真や絵画の愛好家などが数多く訪れ、時代劇のロケ地としても頻りに活用されるなど、市民の憩いの場であり、近江八幡の代表的観光地に位置づけられています。



山麓売店

近江八幡の名産品や地元特産品を販売しています



八幡山城の御城印 / 瑞龍寺の御朱印

八幡山山頂 村雲御所 瑞龍寺にて 各1枚 300円(税込) 販売中

八幡山散策コース

恋人の聖地 展望館前 モニュメント



山頂駅から村雲御所瑞龍寺門跡まで徒歩7分 1周歩いて30分の散策コース